



2015 年臨床漢方薬理研究会大会

(第111回例会)

近代人に必要な漢方医薬の構築

日時 2015年12月6日(日) 10:00 ~17:00

会場 近畿大学医学部 円形棟大講堂
〒589-8511 大阪狭山市大野東 377-2
TEL: 072-366-0221
アクセス(地図)別紙参照

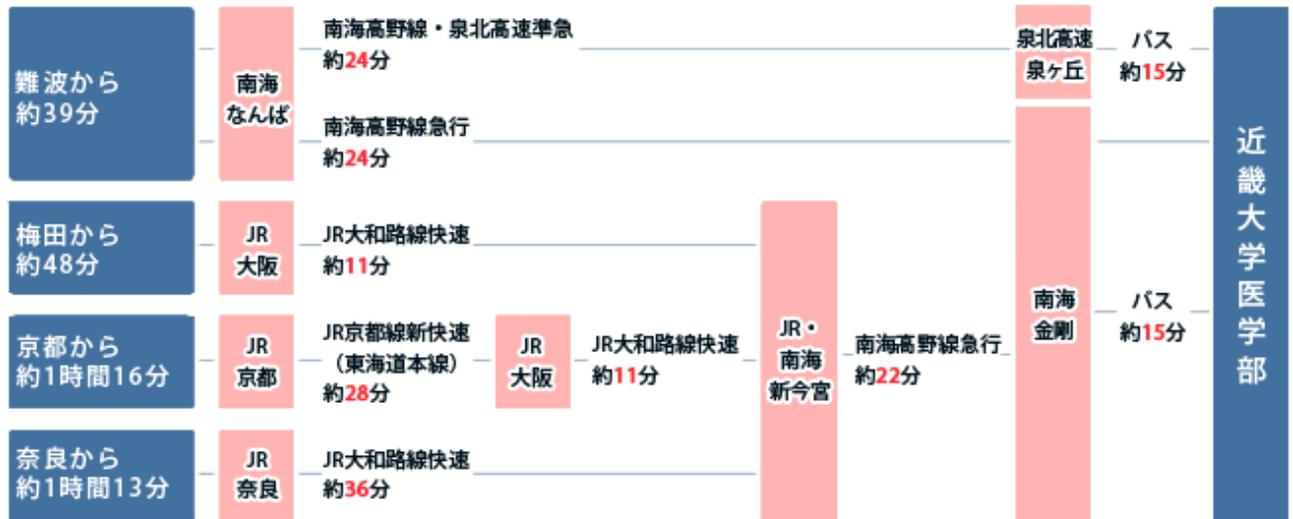
研究会参加費 2000円: 事前登録不要
懇親会参加費 5000円: メールまたはfaxにて申し込み必要
11月30日までに氏名・連絡先(所属・TEL/E-MAIL)
創作ダイニングさくら(072-349-6600)にて18:00~

研究会代表連絡先: 近畿大学東洋医学研究所 日置智津子
〒589-8511 大阪狭山市大野東 377-2
FAX: 072-366-6661 TEL: 072-366-0221 (3304)
E-MAIL: chioki@med.kindai.ac.jp

ご案内

天は澄み渡り、より高く、地には生命が満ち満つる秋となりました。さて2015年臨床漢方薬理研究会大会(第111回例会)のご案内を差し上げます。近年の異常気象の影響でしょうか、四季のうちで秋の心地よさ感じられる時期が短くなってきたように感じます。そして夏の記録的な猛暑、冬の局地的な大雪、地球規模で発生する極端な気象イベントは、直接であれ、間接的であれ、すべての生命に影響を与えています。心身の変動(ゆらぎ)が大きく、健康を崩す人は少なくありません。このような時期(時代)こそ、東洋医学が身近に生かされるべきと考えます。一方、漢方で活用される生薬植物(生命体)の生存や生育も、今後変わりゆく気象イベントに左右されることは言うまでもありません。今こそ、持続した一定品質の生薬確保、市場流通の価格安定の確保などが重要課題であると言えましょう。そして、東洋医学、漢方薬を現代社会に活用(応用)できる人、身近に生かせる人材が必要です。今、私たち各人が為すべきことを探るためのヒントを見つけるべく本会を開催いたします。師走のご多忙な折とは存じますが、ご参加をお待ちいたしております。

アクセス 地図



自家用車でおいでの場合、かならず‘患者様用駐車場(駐車料金が必要となります)’をご利用下さい。



会場までの地図 バス停からの経路

プログラム



*漢方薬・生薬の供給から開発・臨床実践

進行 近畿大学薬学部漢方研究会 OB 宇高一郎

☆ 10時 ~ 11時

1. 「実臨床に向けた生薬供給の現況と課題」

ウチダ和漢薬株式会社 吉田嗣治

2. 「漢方薬局の活動状況とこれから」

一般社団法人 大阪府薬剤師会 漢方・薬局製剤委員会 委員 廣濟和男

☆ 11時 ~ 12時

3. 「漢方薬と西洋薬の効き目 どこが違う？」

近畿大学東洋医学研究所 講師 日置智津子

- 昼食 ~ 12時50分 -

☆ 12時50分 ~ 13時50分

4. 「食品薬学-機能的食品素材に生活習慣病の予防および改善に有用なシーズを求めて-」

近畿大学薬学総合研究所 教授 森川敏生

↓医療実践から学ぶ

☆ 14時 ~ 15時

進行 寺島クリニック 院長 寺島隆平

5. 「緩和ケアと漢方」

宇治徳洲会病院小児科 部長 漢方外来 牧野茂

6. 「緩和医療概論 ~今と展望~」

宇治徳洲会病院 緩和ケア内科 部長 川上明

🌀チーム医療に向けて

☆ 15時 ~ 16時

進行 近畿大学医学部附属病院薬剤部 薬局長 森嶋祥之

7. 「本院におけるチーム医療の試行(栄養部)」

近畿大学医学部附属病院栄養部 技術係長 梶原克美

8. 「輸血における副作用とその対策」

近畿大学医学部附属病院輸血・細胞治療センター 係長 金光靖

🌸 特別講演

☆☆ 16時 ~ 17時

進行 近畿大学東洋医学研究所 講師 椎名昌美

9. 「婦人科疾患と漢方」

近畿大学東洋医学研究所 教授 武田卓

敬称略

主催 臨床漢方薬理研究会

後援 一般社団法人大阪府薬剤師会 一般社団法人大阪府病院薬剤師会 一般社団法人日本生薬学会

協力 近畿大学東洋医学研究所

薬剤師研修センター集合研修会 (研修認定薬剤師/漢方薬・生薬認定薬剤師:集合研修4単位)